

新しくできたふれあい交流センターでは、嵐山町の総合的な地域活動を進めましょう。

南部交流センターは、旧鎌形小学校野特別教室でログハウス風の新しい木造りの建物です。町は管理企画する人をおき、さまざまな活動を地域と一緒につくってください。調理室は子ども仕様、子どもの宿泊合宿を町事業として展開し、子どもに自然ゆたかな嵐山町を味わってください。

北部交流センターは、いきいきふれあいプラザ「やすらぎ」・町立吉田集会所を統合し、役場出張所機能のある施設にして北部の地域づくりの中心にしましょう。

北部地区は七郷村で菅谷村と合併し嵐山町になりました。自動車でも菅谷までは遠すぎませんか。町立吉田集会所は、斜面地に建設され老朽化しています。改修に経費を使うよりも統合して、北部交流センターに職員を配置し、充実した事業展開を進めていきましょう。

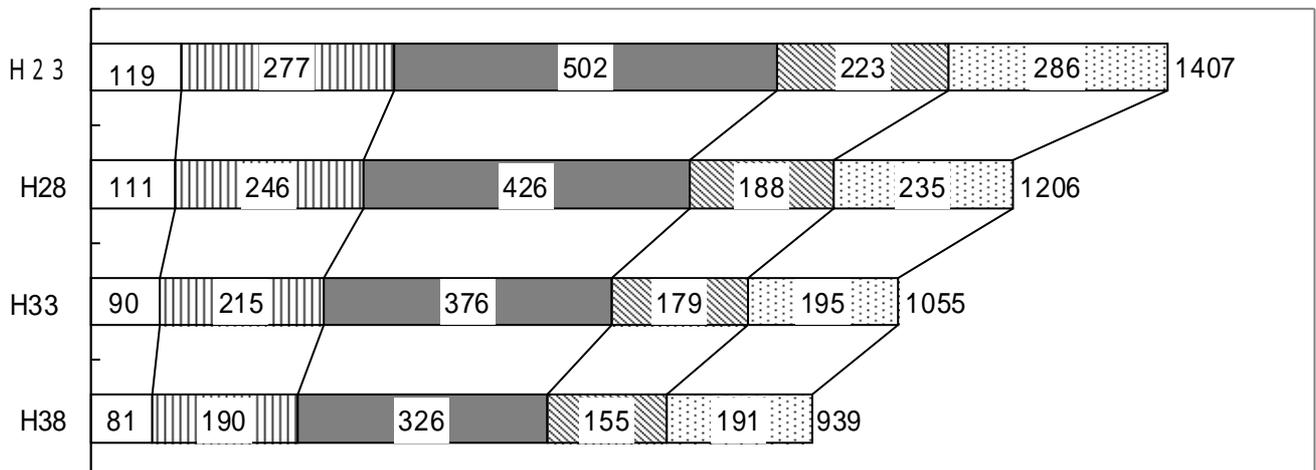


小中学生の数は推定では下記のグラフのように 15 年間で現在の 65% になります。

10 年後、七郷小に加え志賀小も、1 学年 1 クラスになります。子どもの友だちとの関わりが限られたものになりそうです。学校の統廃合を考えるか、町全体で子どもが交流する企画で少子化に対応しましょう。町が、ミニ嵐山町を企画し、こども町長・こども議員・こども図書館員・子ども校長・こども店長など子どもの社会参加の機会をつくると、次世代のまちづくり参加が進みます。

嵐山町小中学校の児童生徒数見込み (H23年6月21日町作成)

□七郷小 □志賀小 ■菅谷小 ▨玉ノ岡中 ▩菅谷中



地域の支えあいは、ふれあい交流センター(菅谷小・志賀小地区)、
北部交流センター(七郷小区)、南部交流センター(元鎌形小区)を拠点にしましょう。

子どもと大人と一緒に企画・活動できる拠点到！

こどもたちと学校応援団と交流センターの事業が結びつくといいですね。

子どもと大人のボランティア活動で地域の支えあいをつくりましょう。

